

# 組織犯罪対策部

## 犯罪組織との対決

暴力団、国際犯罪組織等の犯罪組織は、凶悪事件、違法薬物の密売、特殊詐欺等の様々な犯罪を敢行しており、都民の平穏な生活に著しい脅威を与えています。

警視庁では、

- 犯罪収益対策
- 暴力団対策
- 国際組織犯罪対策
- 薬物銃器対策
- 特殊詐欺対策

をはじめ、犯罪組織の弱体化・壊滅に向けた総合的な対策を行い、都民の安全・安心の確保に努めています。

### 犯罪収益対策

詐欺や違法薬物等で得た犯罪収益は、闇から闇へと巡り回すことで犯罪組織が潤い、組織を肥大化させたり、次の犯罪への準備資金となっており、この犯罪収益の遮断こそが犯罪組織壊滅への突破口となります。

警視庁では、令和4年4月1日、組織犯罪対策部の組織改編により、犯罪収益対策に特化した犯罪収益対策課を全国で初めて発足させ、強力に取締りに当たっています。



クレジットカード不正利用事件



### 暴力団対策

都内では、暴力団、準暴力団等が違法な資金獲得活動を活発に行っているほか、全国的には山口組の分裂に伴う対立抗争が発生するなど、暴力団情勢は極めて厳しい状況が続いています。

このような情勢の中、警視庁では、令和4年中1,490人の暴力団員等を検挙しています。

今後も検挙活動を推進するほか、社会全体で暴力団排除活動を推進していきます。

暴力団に対する困り事相談窓口について、詳しくはこちらをご覧ください。



賭博場開張等図利事件



暴力団排除活動

### 国際組織犯罪対策

近年、外国人材の受入れが進む一方、不法・偽装滞在者の増加や一部の不良外国人が敢行する重要事件の増加が懸念されています。

警視庁では、令和4年中、関係機関とも協力して、3,287人の外国人犯罪者を検挙・摘発しました。

あわせて、外国人コミュニティに対する指導啓発活動を推進するなど、在留外国人の安全の確保に向けた対策にも取り組んでいます。



在留カード等密造・密売事件

### 薬物銃器対策

警視庁では、覚醒剤等違法薬物の密輸・密売組織の摘発や拳銃の取締り等を推進した結果、令和4年中、2,054人の薬物事犯被疑者を検挙し、合計約165キログラムの違法薬物を押収したほか、67丁の拳銃を押収しました。

また、薬物銃器の危険性や若年層を対象とした大麻の有害性等についての広報啓発活動を推進しています。

薬物乱用防止講座をホームページに掲載しています。詳しくはこちらをご覧ください。



空港における薬物銃器対策キャンペーン



暴力団員らによる大麻栽培事件



拳銃等加重所持事件

### 特殊詐欺対策

令和4年中、警視庁が特殊詐欺で検挙した被疑者に占める暴力団員等は、検挙した全体803人の内115人(14.3%)でした。また、首魁及び指示役についても、22人の内13人(59.1%)が暴力団員等でした。

警視庁では、特殊詐欺が暴力団等の犯罪組織の重要かつ継続的な資金源になっていると認められることから、取締り及び実態解明を徹底し、犯罪組織の壊滅に向けた各種対策を推進しています。



暴力団本部の捜索に入る捜査員